



JUN, 2024 | VOL.105

ARMY

陸上自衛隊 部内広報誌

陸幕長視察
太平洋地上軍シンポジウム

TOP

ダルマ・ガーディアン23
アイアン・フィスト24

令和6年度 富士総合火力演習
部隊新編・改編
突撃！タクマくん
入隊式・入校式
予備自衛官制度創設70周年
etc.

目次



共同訓練

ダルマ・ガーディアン 2 3
アイアン・フィスト 2 4



富士総合火力演習

東富士演習場で行われる
陸自最大規模の実弾演習



部隊新編・改編

民間力活用推進班、第3水陸機動連隊
システム通信・サイバー学校、etc.



入隊式・入校式

この春に入隊・入校を迎えた
新入隊員・学生の様子を紹介！



予備自制度創設70周年

全国から招集された予備自衛官を招集し
予備自制度創設70周年事業を実施しました

北部方面隊等視察

令和6年2月14日、森下陸幕長は、札幌駐屯地において、北部方面隊等を視察しました。

本視察においては、北部方面総監部及び札幌地方協力本部の隊務運営や勤務環境など、現地の状況を確認しました。

教育訓練研究本部視察

令和6年4月9日、森下陸幕長は、目黒駐屯地において、教育訓練研究本部を視察しました。

本視察においては、校務運営や勤務環境、また入校中の学生の教育状況などを確認しました。



イギリス陸軍参謀長公式招待

森下陸幕長は、令和6年2月26日～2月28日までの間、イギリスのサンダース陸軍参謀長を公式招待しました。

サンダース参謀長とは、今年度3回目となる対面での懇談となり、今後の陸軍種間協力の方向性について意見交換をしました。

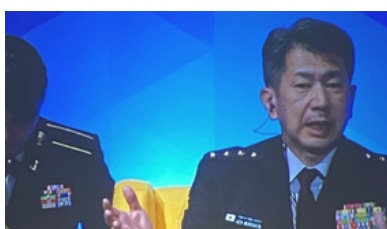
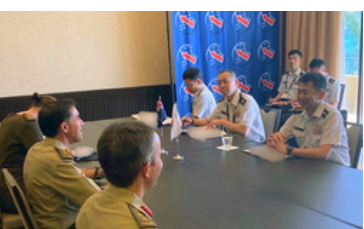


アメリカ部隊実験視察

Project convergence (cap stone 4)

令和6年3月4日～3月5日までの間、森下陸幕長は、米国カリフォルニア州において、米陸軍の事業「プロジェクト・コンバージェンス」を視察しました。

この事業は、AI（人工知能）などの最新テクノロジーを軍事行動に導入した将来の陸軍種の行動を検証するもので、陸自としては初の参加となりました。



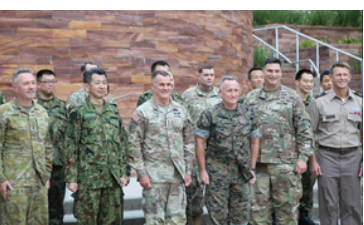
太平洋地上軍シンポジウム

Land Force Pacific Symposium and Exposition (LANPAC)

令和6年5月14日～5月16日までの間、森下陸幕長は、米ハワイにおいて、太平洋地上軍シンポジウム（LANPAC）2024に参加しました。

日米豪韓の陸軍種トップによるパネル・ディスカッションに参加するとともに、参加各国とのハイレベル懇談を通じ、多国間連携強化の重要性について認識を共有しました。

また、5月17日～5月19日までの間、第45回シニア・リーダーズ・セミナーに参加し、米太平洋陸軍司令官及び米太平洋海兵隊司令官との懇談等を実施しました。





共同訓練

ダルマ・ガーディアン

DHARMA GUARDIAN

23



令和5年度インド陸軍との実動訓練

令和6年2月25日～3月9日までの間、陸上自衛隊は、インドのラージャスタン州において、令和5年度インド陸軍との実動訓練（ダルマ・ガーディアン23）を実施しました。

東部方面総監 陸将 富樫勇一

担任官

第34普通科連隊（約40名）

実施部隊

本訓練では、対テロ戦に関する経験が豊富なインド陸軍との共同訓練を通じてそのノウハウを学び、戦術技量の向上を図るとともに、陸自とインド陸軍との相互理解・信頼関係の促進を図りました。

総合訓練においては、潜伏するテロリストを日インド共同で、搜索から撃滅するまでの行動を演練し、参加隊員は任務を完遂しました。





共同訓練

アイアン・フィスト

IRON FIST

24



令和5年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練

令和6年2月25日～3月17日までの間、陸上自衛隊は、相浦駐屯地などにおいて、令和5年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練（アイアン・フィスト24）を実施しました。

陸上総隊司令官 陸将 竹本竜司

担任官

陸上総隊（水陸機動団、第1ヘリコプター団等）
西部方面隊（西部方面航空隊等）

実施部隊

本訓練では、南西地域における日米共同での水陸両用作戦に係る実動訓練を実施するとともに、指揮機関訓練では、離島への着上陸から陸上戦闘までの一連の作戦行動に係る計画を作成しました。

今年はこれまで焦点としてきた、連隊レベルでの実動訓練に加えて、島しょの選定などを行う団本部レベルでの指揮機関訓練を統合・共同にて演練することで、より効果的な訓練を実施することができました。





令和6年度 富士総合火力演習

FUJI SOKAEN

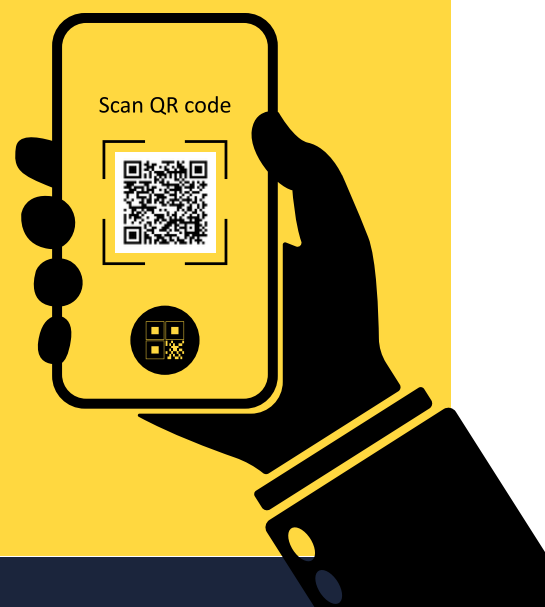


陸自最大規模の実弾演習

2種類のプログラム

令和6年5月26日、陸上自衛隊は、東富士演習場において、令和6年度富士総合火力演習を実施しました。この演習は、陸上自衛隊の学生等に対し、現代戦における火力戦闘の実相を教育するためにこなっています。

本演習は、昼間と夜間の2種類の演習があり、それぞれ前段と後段にプログラムが分かれています。前段は各種装備品の性能を示し、後段は島しょ防衛を想定して、上陸した敵を撃破するまでの一連の流れを演練しました。



昼間の演習

前 段

前段は、飛来したV22オスプレイから隊員が展開する様子や、対人狙撃銃について消音機の有無による違いの比較、水に浸した20式小銃を取り出しての射撃や、10式戦車のスラローム射撃など、各種装備品の性能がわかる展示内容となりました。

後 段

後段は、敵の上陸に対する島しょ防衛の一連の流れを演習。今年の特徴としては、あらかじめ決められたシナリオに基づく火力戦闘ではなく、隊員がその場でランダムに指示を受け行動するなど、より実戦に近い形式で演習を実施しました。



夜間の演習

前段・後段

夜間の演習についても、昼間と同様の流れで前段及び後段の流れで演習を実施しました。

前段は、暗視装置を装着しての行動や、発射する弾薬についても照明弾を活用しての射撃を展示するとともに、後段は、夜間における島しょ防衛の一連の流れを演習しました。



部隊新編・改編

Troops Organization
and Reorganization



民間力活用推進班

令和6年3月21日、陸上自衛隊は、防衛省・自衛隊として民間力活用そのものを所掌事務とする初めての部署として、陸上幕僚監部 監理部 総務課に民間力活用推進班を新設しました。

民間委託等が可能な業務に対し、民間力を積極的に活用することで、第一線部隊に常備自衛官を充足して運用の実効性を向上させていきます。



第7地対艦ミサイル連隊

令和6年3月21日、西部方面隊は、勝連分屯地において、第7地隊艦ミサイル連隊を発足するとともに、同30日、同連隊の編成完結報告及び隊旗授与式を行いました。

沖縄本島に配備される初のミサイル部隊として、平素から抑止力を発揮するとともに、南西諸島における防衛体制強化の一翼を担ってまいります。



三宅防衛政務官

伊藤団長

第2特科団

令和6年3月21日、西部方面特科隊は、同日付で新編された第7地対艦ミサイル連隊を指揮下に加え、新たに第2特科団へと改編し、4月13日、湯布院駐屯地において、第2特科団の改編行事を実施しました。

新たに配置された第7地対艦ミサイル連隊と、従前から配備されていた高射部隊との連携により、南西地域の抑止力を高めてまいります。



木原防衛大臣

高田連隊長

第3水陸機動連隊

令和6年3月21日、陸上総隊は、水陸機動団における3つ目の連隊となる第3水陸機動連隊を発足するとともに、同24日、竹松駐屯地において隊旗授与式を実施しました。

3個連隊になったことで、これまで以上に部隊の即応性が向上し、南西地域等の島しょ防衛に係る抑止力・対処力が強化されました。



木原防衛大臣

奈良岡学校長

森下陸幕長

システム通信・サイバー学校

令和6年3月21日、陸上自衛隊は、通信学校を新たにシステム通信・サイバー学校に改編するとともに、同31日、久里浜駐屯地において、改編行事を実施しました。

システム通信・サイバー学校は、教育の充実を図るためサイバー教育部を新設し、サイバー防衛態勢の抜本的強化に当たります。



フィジー

令和6年2月12日～2月27日の間、自衛隊中央病院及び陸上自衛隊衛生学校の隊員2名は、フィジー共和国において、フィジー軍のPKO派遣要員に対し、野外衛生能力向上のための教育を実施しました。

今後も本事業を通じ、フィジー共和国軍の衛生分野での能力向上を支援するとともに、日フィジー間の関係を強化してまいります。





フィリピン

令和6年3月4日～3月8日の間、陸上自衛隊は、西部方面隊において、フィリピン陸軍本部及び第525工兵大隊関係者12名に対し、人道支援・災害救援（HA/DR）分野での能力構築支援を行いました。

今次事業では、災害対応に係る装備品の展示や、人命救助システムの使用法教育等により、同軍の災害対処能力向上に寄与しました。

能力構築支援 Capacity Building



モンゴル

令和6年5月13日～6月4日の間、陸上自衛隊は、モンゴルにおいて、モンゴル軍に対し、PKO（施設）分野に関する能力構築支援として、測量や排水設備を含む舗装道路の構築等の教育に関する補佐・指導を行い、道路構築能力の向上を図りました。

また、5月15日～5月21日の間、HA /DR（衛生）分野に関する能力構築支援として、モンゴル軍中央病院が企画・運営する大量傷者受入訓練（実動訓練等）に対する指導及び助言を行い、モンゴル軍中央病院職員の能力向上に寄与しました。



日本&カナダ 幕僚協議

令和6年2月18日～2月22日の間、陸上自衛隊は、カナダのバンクーバーにおいて、カナダ陸軍と初となる日カナダ幕僚協議を実施しました。

昨年9月にインドで実施された会議においてカナダ陸軍側から打診があり、今回の幕僚協議が実現。これを契機に連携の充実を図り、自由で開かれたインド太平洋地域を目指して、共に協力・交流を推進していくことで一致しました。

最先任上級曹長 活動状況



陸幕長訓話



陸自最先任説示



グループ討議



陸幕施策説明

総隊・方面隊等最先任会同

令和6年4月15日～16日の間、防衛省市ヶ谷庁舎A棟陸幕会議室において、令和6年度総隊・方面隊等最先任会同を実施しました。

会同では、陸幕長訓話、陸自最先任説示、准曹人材育成に係わる討議及び陸幕施策説明を行いました。

また、本会同へ68名の最先任が参加し、各部隊との情報共有・意見交換を交え、上級曹長業務系統の更なる強化を図ることが出来ました。

最先任と諸外国との下士官交流

令和6年5月13日～19日までの間、米国（ハワイ州）で開催されたLANPACへ参加し、12カ国の諸外国最先任と人材育成及び今後の下士官交流等について意見交換を行い、情報を共有をしました。

また、16日に第18衛生コマンド及び下士官学校において部隊研修を行い下士官に係わる認識の共有を図りました。



下士官パネルディスカッション



部隊研修



第18衛生コマンド



下士官学校研修

能登半島地震に伴う 災害派遣活動

一日も早い復旧のため
支援活動を継続中

陸上自衛隊は、引き続き石川県において、災害派遣を継続中です。能登半島地震の発災から5ヶ月が経ちましたが、未だライフラインの完全な復旧には至っておらず、被災地の一日でも早い復旧のため、各種活動に従事しています。

隊員達は、被災者の笑顔を取り戻せるよう、毎日元気に高いパフォーマンスを発揮し、活動を継続しています。陸上自衛隊は、国民の安全安心のため、あらゆる任務に対応していきます。



幹部候補生学校（一般幹部候補生）



第16普通科連隊（自衛官候補生）



女性自衛官教育隊（一般曹候補生）

第50普通科連隊（自衛官候補生）



Flesh

入隊式 入校式

第118教育大隊（自衛官候補生）



第117教育大隊（一般曹候補生）



第32普通科連隊（自衛官候補生）

第120教育大隊（自衛官候補生）



第10即応機動連隊
（自衛官候補生）

高等工科学学校（高等工科学学校生徒）



第8高射特科群
（自衛官候補生）



予備自衛官制度創設 70 周年事業

(令和 6 年度予備自衛官中央訓練)

概要

令和 6 年 5 月 23 日～27 日までの間、市ヶ谷及び朝霞地区等において、全国から選考された予備自衛官を招集し、予備自衛官制度創設 70 周年事業を実施しました。

本事業は、陸上自衛隊として、70 周年を祝賀し、予備自衛官等の士気高揚を図るとともに、制度広報等を行い、国防に対する国民の理解促進を図ることを目的としています。

70 周年事業では、例年予備自衛官中央訓練に接続して実施している陸幕長訓示、永年勤続者表彰、各種研修に加え、能登半島地震災害派遣に参加した予備自衛官等による講話及び大臣、政務三役をはじめとして多数のご来賓をお招きして実施した記念祝賀会を行い、周年事業に相応しい内容となりました。

成果

参加した予備自衛官からは「平素の招集訓練では経験できないような充実した訓練内容であり、予備自衛官として改めて自覚するとともに、志願者増に向け、予備自衛官等制度の周知に貢献したい。」、また「予備自衛官として、会社や民間に対し制度等を広めていき、自衛隊と国民の懸け橋になりたい。」との声が多数あり、国防のために何か役に立ちたいという予備自衛官の熱意・高い志が、訓練担任部隊等の常備隊員に伝わり、常備・予備の一体感が醸成されるとともに、予備自衛官の士気の高揚及び制度広報に係る意識を向上することができ、本事業の目的を達成できました。



守る未来、70年のその先へ

(予備自衛官制度創設 70 周年キャッチフレーズ)

突撃！タクマくん

～vol.1 『民間力活用推進班』について～



こんにちは！私は陸GIRLのヌウちゃんだよ♪今号からはタクマくんが主役の新企画をお届けするよ～！

この「突撃！タクマくん」は、陸自のトレンドともいえる題材を見つけて、その担当者さんに対しタクマくんが突撃取材をするという体当たり企画！

ARMY103号まで掲載していた「教えて！ヌウちゃん」のデザインを引き継いで、今号からはタクマくんがガンガン突撃していくよ！



ARMY105号を見てくれているみんな、こんにちは！陸BOYのタクマくんだよ～。今回から僕のコーナーがスタート！これから色んな陸自トレンドを紹介していくよ！

さて、最近陸自で話題になっていることといえば…！！陸自どころか、防衛省で話題になっている新編部署があるみたい！その名も「民間力活用推進班」！なんかすごそうな班だね！さっそく突撃しちゃおう～！



《民間力活用推進班》

略して「民推班」



民間力活用推進班は、令和6年3月21日、陸上幕僚監部総務課内に新編された、防衛省・自衛隊として「民間力の活用そのものを所掌事務」とするはじめての部署だよ！

ここでいう、民間力の活用とは、民間（自衛隊以外の組織、企業、個人）から専門的な知識やリソース等を取り入れること。

編成は、民間力活用推進班長と班員（自衛官4名、事務官1名）の計6名で、民間力活用のけん引役を担うよ！

民推班を一言で言うと？



民間力をドンドン導入  スイススイ推進班！

どんな仕事してる？

まず、民間力活用推進班内には、計画と事業管理の2つの機能があるよ！

計画

事業管理

具体的な業務についても2つあるよ！

今やってる仕事を民間委託
できるか検討・具体化

予算要求、配当予算の
執行業務など

なぜ民間力活用が必要？

まじめに説明すると。。。

人口減少や少子高齢化の急速な進展により、我が国が深刻な人手不足社会を迎え、自衛隊員の人材確保が厳しくなる中、我が国の防衛力を持続性あるものにするためには、「民間力の活用」がますます重要となります。

具体的には、民間委託等が可能な業務に対し、「民間力を積極的に活用」することで、第一線部隊に常備自衛官を充足して運用の実効性を向上させるということです。

民間力活用場面の紹介



学校・業務隊における総務業務



補給処における出納業務



HTCにおける器材管理業務

生活勤務環境の改善・魅力化



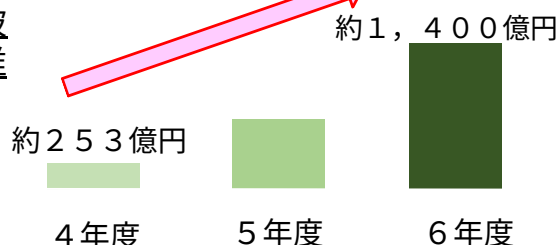
令和9年度までに隊員の生活・勤務環境を根本的に整備！

防衛力の抜本的強化推進に伴い、令和5年度以降、防衛省及び陸上自衛隊の予算環境が変化する中、隊員の生活・勤務環境を改善・魅力化するため、施設の建替・修繕、被服、営舎用備品、寝具等の更新、宿舎の整備、人的基盤維持備品（厚生用備品等）の整備を順次、推進しています。

令和9年度までには確実に改善・魅力化されます。

▼改善・魅力化に係る予算規模

約5.5倍に増加



■ 宿舎整備

令和5年度以降、機能向上、老朽更新等を実施しており、令和6年度は一層促進し、宿舎整備の充実に取り込んでいきます。

今回は、宿舎の改善・魅力化に関する事業について3つ紹介します。

I 法定点検の国費化

これまで入居者負担としていた「消防用設備等（点検・保守）」と「受水槽・高置水槽（清掃・点検）」について令和6年度から国の費用で負担することになりました。

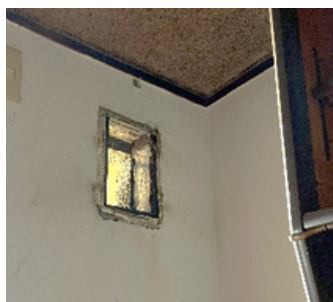
「浄化水槽」の法定点検についても引き続き検討しております。

Before

After

II 網戸・換気扇の整備

令和9年度までに網戸・換気扇が未整備の宿舎に設置を完了できるよう、段階的に整備していく予定です。



III ガス給湯器への換装

全国の宿舎の中にはバランス釜（通称、カチカチ）で給湯している宿舎が数多くありますが、令和9年度までに全ての宿舎をガス給湯器に交換できるよう段階的に整備していく予定です。



【Topic】

令和6年度に那覇における空調機設備整備を予定しています。

令和7年度以降、準備整備範囲を拡大していきます！



他にも実施している生活・勤務環境の改善・魅力化に係る取組みを皆様に知っていただくために、引き続き、生活勤務環境の改善・魅力化に関する情報発信を続けていきます。



緊急登庁支援について

災害等発生時において、緊急に登庁しなければならない場合に、**預け先のない子どもを駐屯地内の施設において預ける**ことができる制度の事です。いざという時に任務に専念できるよう、共働きや小さなお子様を持つ隊員の皆様は、是非活用ください♪



どれだけの期間預けられるの？

発災後すぐに預けることが可能で、親族等が迎えに来てもらうまでを想定して、**5日程度の期間**預けられます。



誰が何処で面倒見てくれるの？

駐屯地の施設で残留可能な**保育に係る講習等を受けた隊員**が面倒を見てくれるので安心です。**保育士資格を保有する予備自衛官**等も募集しています。



預ける際に準備するものは？

最小限の**着替え**などの他、現行の制度では、お子様に食事を支給できないため、**食べ物**を準備してもらう必要があります。



緊急登庁支援を有効に活用するためには

【ポイント①】所属部隊を通じて預けたい**お子様を事前に登録**してください。

お子様の疾病やアレルギー、定期的な投薬の必要性や、その要領などについても登録の際に申告して下さい。

【ポイント②】預けるのに必要なお子様の**最新の情報**について**更新**してください。

異動等に伴う引取り先の親族の変更や、連絡先の変更については、必要な連絡を速やかに行うために確実に更新して下さい。

【ポイント③】**平素から**ご家族や親族と預けるための**準備や相談**をお願いします。

- 預ける日数分を見越した衣服等の準備
- 食事等を購入できない場合の食料品の備蓄
- 引き取る家族や親族等との相談

隊員自主募集



後輩は自らの手で！！ 隊員自主募集 ご協力をお願い

いつも多くの自主募集情報ありがとうございます。

単年度の入隊者のうち、
自主募集情報からの入隊者は
約30%
いるんです！！



▼ 隊員自主募集の流れ

① 隊員による広報と募集対象者情報の取得

興味・関心を持った方がいる場合は、**必ず本人の同意を得た後、隊員自主募集情報を取得**してください。

② 各部隊担当者等は、部隊等長の確認を受けた後、担当地本へ「隊員自主募集通知書」を送付

情報を記載した隊員自主募集情報通知書は、**各部隊等の長の確認**を受けた後、各部隊担当者等により**速やかに現住所を担当する地本へ送付**してください。
(対象者の希望する地本にも送付可能)



対象者と接する上で
のお役立ちツール！

■ 自衛官募集公式

YouTubeチャンネル



▼ 自主募集情報の取得について

【マニュアル参照先】

業務システム 中央ポータルサイト▶陸上幕僚監部トップ画面

▶人事教育部募集・援護課サイトトップ▶募集施策共有ライブラリ

▶【NEW】R5一般隊員向け隊員自主募集ガイドライン



自衛官としての成長だけでなく、「ソレ、誤解ですから！」等、自衛官としての職業の魅力を紹介する多数の動画を掲載しています！

SUMMER

VOL.105

JGSDF Internal PR Magazine

ARMY

